

## 大阪市立自然史博物館

日本・モンゴル外交関係樹立40周年／日本・モンゴル共同調査20周年記念企画

### 「発掘！ モンゴル恐竜化石展」

～ゴビ砂漠の恐竜化石はなぜ古生物学者を惹きつけてやまないのか？～

#### 開催について

大阪市立自然史博物館では、平成24年11月23日（金・祝）から6月2日（日）まで、日本・モンゴル外交関係樹立40周年、日本・モンゴル共同調査20周年を記念した特別展、「発掘！ モンゴル恐竜化石展」～ゴビ砂漠の恐竜化石はなぜ古生物学者を惹きつけてやまないのか？～を開催します。



世界でも有数の恐竜化石産地、モンゴル・ゴビ砂漠。1920年代に、アメリカ自然史博物館の調査隊が恐竜の卵の化石を発見したことから、恐竜化石を産出することで知られるようになりました。その後、多くの調査隊によって、世界を驚嘆させる化石が発見されてきました。

1992年に始まった日本の研究機関とモンゴルの共同調査は、今年で20年が経ち、その間にも、ほぼ全身の骨が保存された子どものタルボサウルス、巣の中で化石になった15体のプロトケラトプスの赤ちゃん化石、恐竜で初めて尾羽のつく尾端骨が見つかったノミンジアなどの発見が続いています。

今回展示する標本は、日本とモンゴルの共同調査隊が発掘した標本をはじめ、ほとんどが“実物化石”で、日本初公開のものも多く含みます。モンゴル・ゴビ砂漠ならではの、細部まできれいに保存されたすばらしい化石を、この機会にぜひご覧ください。

- 開会式、内覧会を開幕前日の平成24年11月22日（木）午後2時より、自然史博物館で行います。プレス内覧会取材申込書にて前日までにファックスでお申込みください。
- 広報用写真、読者・視聴者プレゼント用の招待券をご用意しています。  
広報写真申込書、招待券申込書もファックスでお申込みください。

## (1) 開催概要

- 1, 名称 日本・モンゴル外交関係樹立 40 周年／日本・モンゴル共同調査 20 周年記念企画  
「発掘！ モンゴル恐竜化石展」～ゴビ砂漠の恐竜化石はなぜ古生物学者を惹きつけてやまないのか？～
- 2, 会 期 2012 年 11 月 23 日（金・祝）～2013 年 6 月 2 日（日）  
※休館日：毎週月曜日（休日の場合は開館し翌日休館）※ただし 4 月 30 日は開館、  
年未年始（12 月 28 日～1 月 4 日）  
※開館時間：2 月 28 日までは 9:30-16:30、3 月 1 日からは 9:30-17:00（入館はと  
もに閉館の 30 分前まで）
- 3, 会 場 大阪市立自然史博物館ネイチャーホール（大阪市・長居公園内）  
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23  
TEL 06-6697-6221, FAX 06-6697-6225, <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>  
地下鉄御堂筋線「長居」駅下車 3 号出口・東へ 800m  
JR 阪和線「長居」駅下車東出口・東へ 1000m
- 4, 主 催 モンゴル科学アカデミー古生物学センター、大阪市立自然史博物館、林原自然科学  
博物館、読売新聞社
- 5, 後 援 在大阪モンゴル国総領事館
- 6, 協 賛 あいおいニッセイ同和損保、学校法人加計学園、日本公文教育研究会、林原
- 7, 協 力 国立科学博物館、福井県立恐竜博物館、名古屋市科学館、ゴビサポートジャパン、  
岡山理科大学、長居パークセンター
- 8, 運営協力 ヒューマンディベロッパー
- 9, 入 場 料 大人・当日 1,200 円（前売 1,000 円）、高大生・当日 800 円（前売 600 円）  
※上記特別展入場料にて、常設展（大人 300 円、高大生 200 円）も入場可能。  
※中学生以下、障がい者手帳など持参者（介護者 1 名を含む）は無料。30 人以上  
の団体割引あり。  
※前売り券は、10 月 13 日（土）より主なプレイガイドで発売。
- 10, 問合せ 大阪市立自然史博物館 電話 06-6697-6221  
公式ホームページ <http://www.gobidinosaur.com/>

## (2) 展示概要と本展の特徴について

1. 展示標本のほとんどが“実物”！そして日本で初公開される化石も多数！！

モンゴルの竜化石の所有権はモンゴルに帰属するため、国内でモンゴルの実物恐竜化石を見ることが  
できる博物館はほとんどありません。また、モンゴルでは細部までよく保存された、非常に状態の  
いい化石がたくさんみつかっています。本展では、その発見に世界が驚嘆した「プロトケラトプスの

集団幼体化石」や、ティラノサウルス科の幼体の化石では世界で最も保存状態のよい「子どものタルボサウルス」など、“実物”の恐竜化石を多数見ることができるまたとない機会となります。

## 2. ゴビ砂漠の多様な化石産地を紹介！

広大なゴビ砂漠には、化石産地が点在しています。本展では、地層ができた時代や当時の環境別に7つの発掘地を取り上げ、化石はもちろん、発掘地毎に異なる風景や発掘の方法なども紹介します。ジュラ紀後期から白亜紀、そして恐竜絶滅後の新生代にかけて、アジアにどのような世界がひろがっていたのかを明らかにします。

## 3. ゴビ砂漠の化石が伝えるもの：いろいろな研究トピックを紹介！

モンゴルの保存のよい化石は、それだけ多くの情報を含んでいます。子どもの化石からは「恐竜の成長や子育て」について、足跡化石からは「恐竜の行動や姿勢」、そして、頭骨化石をCTスキャンで調べることによって「恐竜の脳や感覚」についてなど、さまざまな角度からの研究を紹介します。

### (3) 主な展示標本 ※広報用画像あり（これらの資料は広報目的でのみご利用いただけます）



1. 巣の中で化石になったプロトケラトプスの幼体 15 体



2. タルボサウルス頭骨



3. 腹部に翼竜の骨が残っていたヴェロキラプトル



4. サウロロフス全身骨格



5. 2~3才と推定されるタルボサウルス頭骨



6. プロトケラトプスとヴェロキラプトルが闘ったまま化石になった「格闘化石」(レプリカ)



7. 全身の骨がつながって見つかったバガケラトプス



8. ゴビ砂漠で多く産出するオビラプトル類、インゲニア



9. からだのよろいが細部まで保存されているサイカニア



10. 恐竜の卵の巣。細長い形の卵が産みつけられた状態で化石になっている



11. 「恐竜の足跡」化石



12. プロトケラトプス頭骨



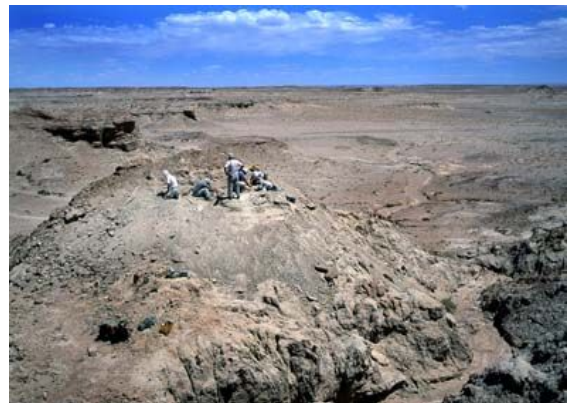
13. 西ゴビ・ブギンツァフで大型恐竜サウロロフスを発掘する隊員たち



14. 西ゴビ・ブギンツァフの風景。見渡す限り白亜紀の地層がひろがる



15. 西ゴビ・ヘルミンツァフのベースキャンプ。調査隊は数週間をゴビで過ごす



16. 東ゴビ・ホンギルツァフにてハドロサウルスを発掘中の隊員たち



17. 西ゴビ・ブギンツァフにて大型肉食恐竜タルボサウルスを発掘する



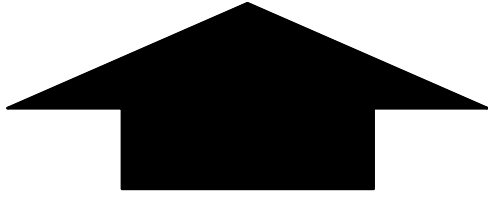
18. 約7000万年前のゴビ砂漠ブギンツァフの風景の想像図。川のまわりにタルボサウルスやサウロロフスなど、いろいろな生きものが生息。

★その他の広報画像もご用意しております。必要な際には、お問い合わせください。

## 関連行事

会期中、モンゴルからの研究者をまじえたオープニング講演会やギャラリーツアーやワークショップなどの開催を予定しています（詳細は後日決まり次第、ホームページなどで発表します）。

## <FAX送信>



FAX. 06-6697-6225

送信先：大阪市立自然史博物館

総務課広報 宛

TEL.06-6697-6222, FAX.06-6697-6225

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23

## 発掘！ モンゴル恐竜化石展

### 開会式・プレス内覧会 取材申請書

プレス内覧会における取材をご希望される方は、下記該当箇所をご記入の上、総務課広報宛にFAXにてご返信ください。

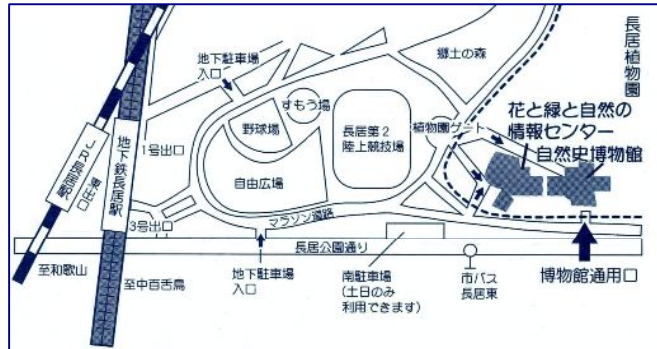
#### ■ 開会式・プレス内覧会

〔日時〕 平成24年11月22日（木）

午後2時～

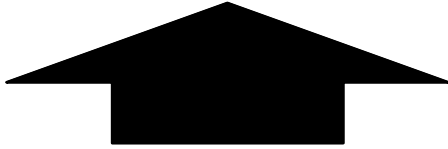
〔会場〕 大阪市立自然史博物館

ネイチャーホール



貴社名	
媒体名	
所属部署／ご担当者名	
人数（カメラ含む）	
ご住所	〒
ご連絡先	TEL. FAX. e-mail.





## <FAX送信>

FAX. 06-6697-6225

送信先：大阪市立自然史博物館内  
総務課広報 宛  
TEL.06-6697-6222 FAX.06-6697-6225  
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23

### 発掘！ モンゴル恐竜化石展

## 広報用画像申込書

本展覧会の広報用画像をご用意しております。ご希望の画像に○印をつけ、下記にご記入の上、ご返信ください。

- ・画像使用は本展のご紹介のみとさせていただきます。(掲載期間：平成25年6月2日まで) 使用後は、データは破棄してください。
- ・掲載記事、番組内容については、基本情報確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で広報宛まで FAX またはメールをお送りください。また、掲載媒体を1部、総務課広報宛にお送り下さい。

No	画像名	No	画像名
1	巣の中で化石になったプロトケラトプスの幼体 15 体	2	タルボサウルス頭骨
3	腹部に翼竜の骨が残っていたヴェロキラプトル	4	サウロロフス全身骨格
5	2～3才と推定されるタルボサウルス頭骨	6	プロトケラトプスとヴェロキラプトルが闘ったまま化石になった「格闘化石」(レプリカ)
7	全身の骨がつながって見つかったバガケラトプス	8	ゴビ砂漠で多く産出するオビラプトル類、インゲニア
9	からだのよろいが細部まで保存されているサイカニア	10	恐竜の卵の巣。細長い形の卵が産みつけられた状態で化石になっている
11	「恐竜の足跡」化石	12	プロトケラトプス頭骨
13	西ゴビ・ブギンツァフで大型恐竜サウロロフスを発掘する隊員たち	14	西ゴビ・ブギンツァフの風景。見渡す限り白亜紀の地層がひろがる
15	西ゴビ・ヘルミンツァフのベースキャンプ。調査隊は数週間をゴビで過ごす	16	東ゴビ・ホンギルツァフにてハドロサウルスを発掘中の隊員たち
17	西ゴビ・ブギンツァフにて大型肉食恐竜タルボサウルスを発掘する	18	約7000万年前のゴビ砂漠ブギンツァフの風景の想像図。川のまわりにタルボサウルスやサウロロフスなど、いろいろな生きものが生息。

貴社名・媒体名	
掲載・放送予定日	
所属部署／ご担当者名	
ご住所	〒
ご連絡先	TEL. _____ FAX. _____ e-mail. _____